



2学期のはじめに、グランドデザインに掲げるスクール・ポリシーや探究ステップアップコンパスの3つの力（つたえて、つながる力、考えを深め、問い続ける力、選んで、動く力）が日々の学校生活でどのくらい意識されているか、到達状況はどうかをセルフチェックしました。現在の自分についてできていることとできていないこと双方を見つめ、少し先の自分の姿を見据え、実際の学校生活の具体的な場面を想定して目標を立てている生徒が多いです。

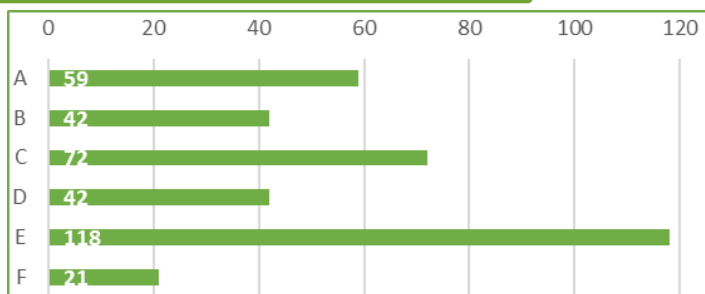
【高校】未来づくりシート：市沼＜3つの力＞セルフチェック→アクションプラン

【目的】スクール・ポリシーに示す「卒業時に目指す姿」に近づくために、探究ステップアップコンパスで示された＜3つの力＞の伸長を、生徒自身が意識して学校生活をおくれるようにする。

- ①「1. 今の自分を知ろう」の6項目について、今の自分のLevelに○をつける
- ②「2. これから特に伸ばしたい2つの「視点」を考えよう」2学期以降の学校生活で特に自分が伸ばしたい項目を2つ選ぶ
- ③「3. My Action！」2学期以降の学校生活で意識することを宣言する

「2. これから特に伸ばしたい2つの「視点」を考えよう」の傾向は???

市沼生は、どの視点やスキルを伸ばしたいと感じているのでしょうか。最も多かったのはE（挑戦・成長）で、挑戦する力や改善する力に伸びしろを感じている生徒が多いことが分かります。次いでC（問い・課題解決）が多く、探究のプロセス全体に課題意識があることが読み取れます。対話(A)や協働(B)、多様な視点(D)についても一定の課題意識があり、特に「多様な立場から考える」「他者の力を生かす」といったスキルが伸ばしたい領域として挙がりました。社会や未来とのつながり(F)は選択が少なく、今後の学校生活や探究活動の中で意識的に育てていきたい視点です。



1 視点E：挑戦し、成長する（118）

- 15：挑戦する（40）
- 16：粘り強く立て直す（37）
- 17：振り返り、改善する（43）

行動の循環をもっと強くしたい気持ちのあらわれです。「まずやってみる」「失敗しても立て直す」「改善して次につなげる」この一連の行動に課題があると感じている生徒が多いです。探究・部活動・行事など、挑戦の場面で自分をもっと伸ばしたいですね。

2 視点C：問いを立て、課題を解決する（72）

- 7：問い・課題を見つける（15）
- 8：情報を集め、見極める（12）
- 9：分析し、考えを深める（22）
- 10：試し、解決策を改善する（20）
- 11：根拠をもって表現する（12）

「問いを立てる」「情報を見極める」「分析する」「改善する」「根拠を示す」…探究のプロセス全体に課題意識があります。

3 視点A：対話する（59）

- 1：違いを受け止め、聴く（14）
- 2：自分の考えを伝える（14）
- 3：対話で考えを深める（15）

「聴く」「伝える」「対話で深める」といった日々の学びの中で、コミュニケーションの質をもう一段高めたいという気持ちが見られます。特に“対話を通して考えを深める”ことに伸ばしたい意識があります。

4 視点B：協働し、価値を生み出す（42）

- 4：目的を共有し、役割を果たす（3）
- 5：他者の力や考えを生かす（23）
- 6：考えをつなぎ、新しい価値を生み出す（17）

協働の場面での自分の役割に課題意識があります。「役割を果たす」は選択が少なく、「他者の力を生かす」「考えをつなぐ」ことに課題意識が集中しています。協働の“質”を高めたい気持ちがあるようです。

4 視点D：多様な視点から、地域と世界をつなげる（42）

- 12：身近な社会に関心をもつ（9）
- 13：多様な立場から捉える（22）
- 14：地域と広い社会をつなげる（9）

視野を広げることへの課題意識です。「多様な立場から捉える」が突出しており、“自分とは違う視点で考えること”に伸ばしたい気持ちが強いようです。社会や地域とのつながりは探究で育っていきます。

6 視点F：社会に関わり、未来につなげる（21）

- 18：自分と社会のつながりを考える（4）
- 19：責任をもって選択し、行動する（8）
- 20：行動を未来につなげる（9）

選択が少なく、課題意識が弱い領域です。「社会とのつながり」「未来への接続」を“自分ごと化”できるようになることを目指して、今後の探究・地域活動の中で、自然と育っていく領域でもあります。